

「運賃交渉促進を」

海コン部会 部会長よびかけ

兵ト協海上コンテナ部会(佐賀里隆之部会長)は6月21日、神戸市東灘区の神戸ベイシエラトンホテル&タワーズで通常総会を開き、事業報告と決算、事業計画と予算をいずれも原案通り承認・決定した。

佐賀里部会長(協栄運輸)は冒頭のあいさつで渋滞対策や役員研

修など活動報告を行う一方、「小さな声が大きくなり、今まで取り上げられなかった海コン事業の現状が最近は取り上げられるようになってきた」と述べ、神戸市などと長期的な視点で車庫用地確保に向けた交渉を続けていることにも触れた。また、海コン運賃として広く利用されている



兵ト協海コン部会の通常総会

「58年タリフ」について「事業費用は当時より上昇しており、この運賃では健全経営でき

ない」と指摘、国が進める働き方改革や昨年暮れに成立した改正貨物自動車運送事業法に沿って各社が運賃交渉を進めるよう強く呼びかけた。

事業報告によると、平成30年度はターミナル滞留問題の改善や関係団体・行政機関との連携で阪神港の発展に寄与、輸送効率向上に取り組んだ。決算は収入973万円、支出532万円、前受金を含めた447万円を次期に繰り越した。

令和元年度は輸送の安全確保、環境対策、労働力確保などを重点課題として取り組み、

関連団体と協力しながら適正運賃の収受に努める。予算は947万円。